

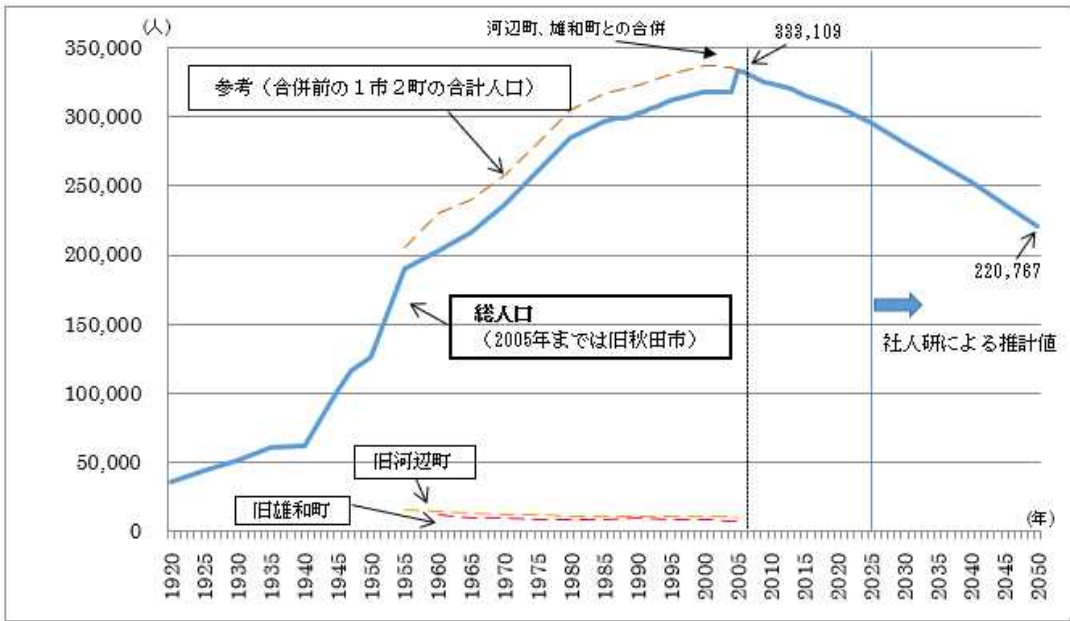
秋田市人口ビジョン(改訂原案)の概要

1 秋田市人口ビジョンについて

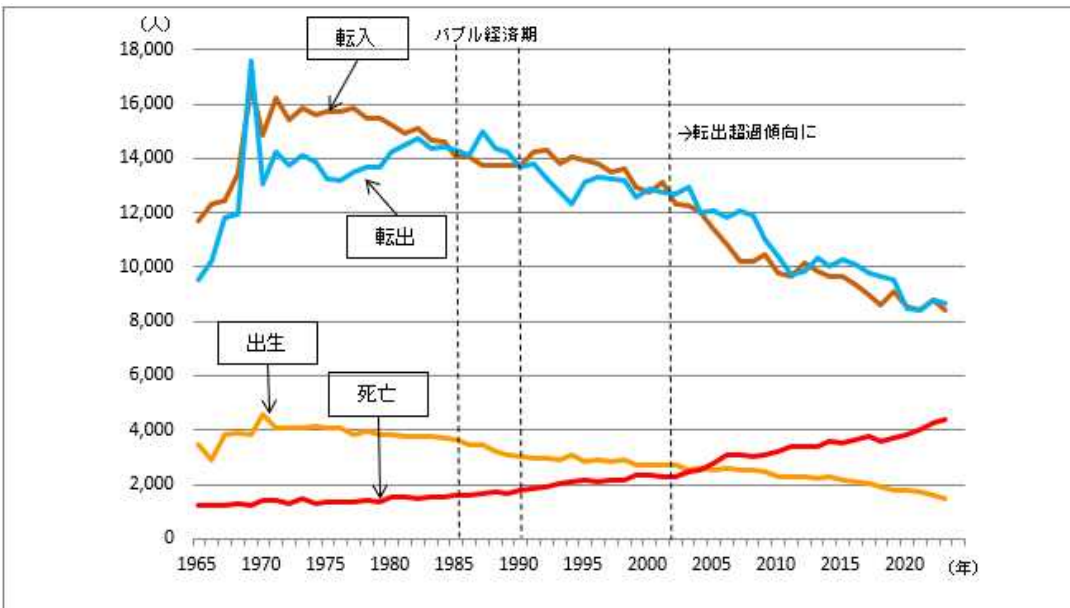
人口減少と少子高齢化が進行する中、人口減少問題に関する市民の認識の共有を図るとともに、目指すべき将来の方向を提示することを目的に策定しています。今回の改訂では、最新の統計や数値等に基づき、人口の現状分析と将来展望について、時点修正を行いました。

2 人口の現状分析

- (1) 2005(平成17)年には河辺町・雄和町と合併して33万人に達しましたが、その後も減少が続き、2026(令和8)年10月1日時点では約29万3千人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)によると、2050(令和32)年には、22万1千人(2020(令和2)年から約27%減少)になると推計されています。



- (2) 「自然動態」については、2005(平成17)年以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」となっており、年々その傾向が強まっています。「社会動態」については、2002(平成14)年以降、東日本大震災後等の一時的な転入超過を除き、転出超過(社会減)の傾向が続いています。



3 人口の将来展望

本市の人口は、秋田市人口ビジョン(令和3年3月)改訂時点における推計・目標と同程度で推移しており、直近の社人研の「日本の地域別将来推計人口(令和5年12月推計)」とも大きく乖離していません。

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計(R5)	307,672	295,501	281,852	267,486	252,336	236,543	220,767	204,723	188,485
本市人口	307,672	292,587							
目指すべき将来人口 (秋田市人口ビジョンR3.3改訂時)	306,347	295,667	284,630	273,227	260,987	249,039	237,653	227,243	217,791
社人研推計(H30)	305,681	292,927	278,379	262,418	244,726	225,923	207,179	188,597	170,196

※社人研「日本の地域別将来推計人口(令和5年12月推計)」より作成
※社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」より作成
※本市人口は、秋田市情報統計課推計人口より作成(令和7年10月1日現在)

- (1) 出生に関する仮定
秋田市人口ビジョン(令和4年3月改訂)を踏まえ、2040(令和22)年に国民の希望出生率1.8程度、2055(令和37)年に人口置換水準(※1)2.07を達成すると仮定(※1)人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率のこと。
- (2) 死亡に関する仮定
社人研の仮定と同一
- (3) 純移動率(※2)の仮定
転出超過が顕著だった15~19歳、20~24歳において、5年後の2030(令和12)年までに、転入・転出が均衡し、全体では転入超過に転じる、それ以降は転入超過が続くと仮定(※2)特定の時期、場所における転入と転出の差を割合として表したものの。

【目指すべき将来人口】

若い世代の転入・転出を均衡させるなどの仮定を反映させた結果、2040(令和22)年には263,374人になることから、目指すべき将来人口は約26万3千人(2040年)とします。

